

カリキュラム区分		2カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門科目	433	3年	前期	臨床検査学科	必修	輸血移植検査学 Blood Transfusion and Transplantation Medicine	15	1
担当教員								
山田 武司	竹内 一人							
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	○ ② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	○ ④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	○ ⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
輸血医療、臓器移植医療の分野における臨床検査は臨床的にも社会的にも重要である。さらに、輸血療法における血液製剤に関する知識および管理についても重要となっている。ここでは血液型とHLA型の基礎を理解し、輸血に伴う副作用および移植拒絶反応および血液製剤について学ぶ。								
到達目標（授業目標）								
輸血医療や臓器移植医療の分野において、輸血移植検査は臨床的にも社会的にも特に重要な検査であることを理解し、それらを行うための基本的知識を習得する。								
① 輸血や臓器移植の副作用について説明できる。								
② 血液型(ABO型及びRh型)検査の臨床的意義を説明できる。								
③ 不規則抗体の臨床的意義およびその検出方法を説明できる。								
④ 交差適合性試験を論理的に説明できる。								
⑤ 組織適合性抗原の機能と臨床的意義を説明できる。								
回 授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
1回	総論（1）・輸血、臓器移植の意義と副作用、輸血副作用・竹内一人							
2回	総論（2）・GVH反応、拒絶反応、輸血製剤・竹内一人							
3回	各論（血液型1）・血液型全般、糖鎖抗原、ABO血液型・山田武司							
4回	各論（血液型2）・Lewis式血液型、他の糖鎖血液型・山田武司							

5回	各論（血液型3）・糖蛋白抗原、Rh血液型・山田武司								
6回	各論（血液型4）・MNS, Duffy血液型、他の糖蛋白血液型・山田武司								
7回	各論（移植と検査）・移植と拒絶反応、GVHD、移植前の検査・山田武司								
8回	各論（免疫抑制剤）・免疫抑制剤と作用機序、再生医療・山田武司								
9回									
10回									
11回									
12回									
13回									
14回									
15回									
16回									
17回									
18回									
19回									
20回									
21回									
22回									
23回									
24回									
25回									
26回									
27回									
28回									
29回									
30回									
成績評価方法及び基準									
定期筆記試験(山田75%、竹内25%)で判定する。トータル60点以上を合格とする。									
教科書	JAMT「輸血・移植検査 技術教本」(丸善出版)、配布プリント								
参考図書等	JAMT「臨床免疫検査 技術教本」(丸善出版)、窪田哲朗・編「免疫検査学」(医歯薬出版)								
授業時間外の学習について(授業準備のための指示)									
授業での理解が進むよう各項目の内容について、教科書を用いた予習・復習を少なくとも各1時間程度行う。									
関連科目									
前科目	430 免疫学	431 臨床免疫学							
後科目	434 輸血移植検査学実習								
実務家教員									
医師(医療機関)	竹内 一人								
備考	授業内容を復習し、知識・理解を確実にした後、次の講義の概要を予習する。随時必要に応じてプリントを配布する。								